

第3号議案

名古屋都市計画道路の変更（愛知県決定）について
・助七西市場線

平成29年5月11日提出

愛知県清須市都市計画審議会
会長 河 邑 眞

名古屋都市計画道路の変更（愛知県決定）

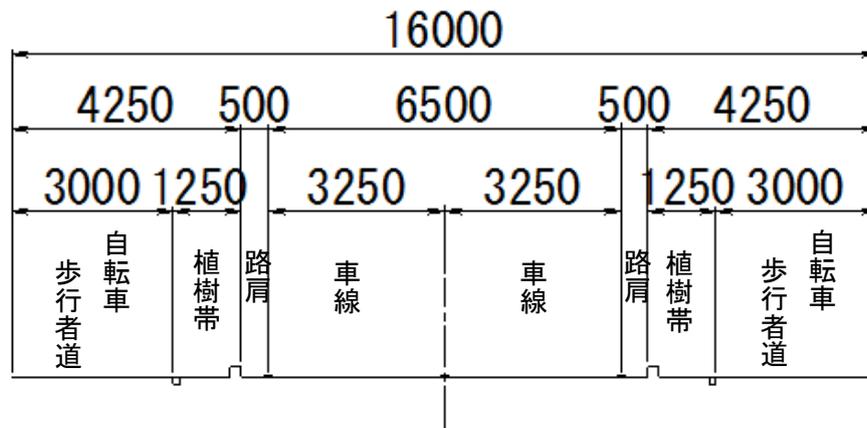
1. 助七西市場線

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造型式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・286	助七西市場線	清須市西市場五丁目	清須市東須ヶ口	清須市清洲京町	約 3,430m	地表式	2車線	16m	自動車専用道路と立体交差1箇所 幹線街路と平面交差5箇所	

「位置及び区域は計画図表示のとおり」

- ・ 変更内容・・・一部区間の区域を変更。

	新	旧
一般部	16m	16～26m



横断面

○理由

現在、名鉄名古屋本線と（都）給父清須線（県道名古屋祖父江線）との踏切は、地域における主要渋滞箇所となっているとともに、緊急的に対策が必要な踏切に指定されています。この踏切より名古屋方にある（都）名古屋環状2号線（国道302号）との踏切も同様であり、これら踏切を中心とした慢性的な交通渋滞や鉄道による市街地の分断等が地域の課題となっています。

このため、踏切による交通渋滞や踏切事故を解消して安全で円滑な道路交通を確保するとともに、鉄道による市街地分断を解消し魅力あるまちづくりを推進することなどを目的に、名鉄名古屋本線の丸の内駅北から大里駅南までの延長約2.8km（途中、新清洲駅を含み、（都）

西清洲上条線、(都)名古屋環状2号線、(都)給父清須線等と交差)を一体的に高架化する事業を行うこととなりました。

こうしたことから、隣接する尾張都市計画区域において、(都)給父清須線が高架となり名鉄名古屋本線上を通過する立体交差方式を、名鉄名古屋本線が高架となるよう変更し、(都)給父清須線を平面道路として必要な区域に変更します。

今回の都市計画変更は、尾張都市計画区域の(都)給父清須線の変更に伴って、接続する本路線起点部の一部区域を変更するものです。

2. 今後の流れ

内 容	年 月 日
説明会	平成28年12月21日 平成28年12月23日
愛知県知事への申出	平成29年1月20日
愛知県知事からの意見照会	平成29年2月24日
変更案の公告	平成29年4月7日
変更案の縦覧	平成29年4月7日から 平成29年4月21日まで
清須市都市計画審議会	平成29年5月11日
以 下 予 定	
愛知県知事へ回答	平成29年5月下旬
愛知県都市計画審議会	平成29年7月4日
都市計画変更の告示	平成29年7月下旬